

今回の定例会で審議した議案と結果

議案名	結果
報告 平成22年度武豊町一般会計継続費繰越計算書について	
報告 平成22年度武豊町一般会計繰越明許費繰越計算書について	
諮問 人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致 推薦
平成23年度武豊町一般会計補正予算（第2号）	全会一致可決
武豊町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	全会一致可決
武豊町税条例の一部改正について	全会一致可決
武豊町立図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	賛成多数可決
工事請負契約の締結について「やすらぎの森墓園整備工事」	全会一致可決
工事請負契約の締結について「武豊町立図書館空調設備更新工事」	全会一致可決
工事請負契約の締結について「武豊町総合体育館屋外改修工事」	全会一致可決
財産の取得について「南部子育て支援センター及び耐震性備蓄倉庫整備事業に伴う不動産の買入れ」	全会一致可決

また、福島県下における原子力発電所の被害については、放射能という目に見えない敵に、自衛隊並びに消防隊員等が命懸けでの復旧作業を行って頂いていることに、深く敬意を表すものであるが、被災地での放射能汚染等は大変憂慮すべき事態となっている。

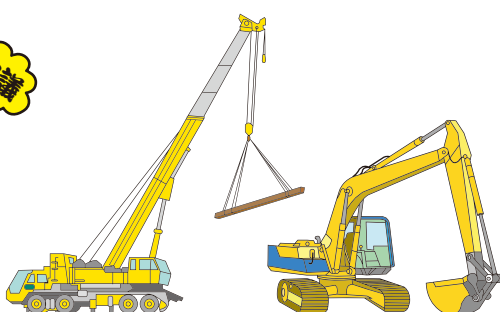
去る、3月11日、東北地方太平洋沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生し、東北及び関東地方をはじめ、太平洋側の各市町村に壊滅的な被害をもたらした。死者、行方不明者は2万人を超え、未だに被害の全容も明らかでない状況にある。

○東日本大地震に関する意見書
その内容は、次のとおりです。



よって、国においては、被災者の安全・安心を確保するため下記事項の速やかなる措置を強く要望する。

- ①被災者並びに被災地に対する経済的な支援の強化
- ②原子力発電所立地地域の安全確保
- ③生活備品の流通確保
- ④ライフラインの早期復旧
- ⑤被災者への心のケア
- ⑥与野党一丸となり国家挙げての取り組みを講じる



「浜岡原発の永久停止・廃炉を求める決議」が提出されましたが、本会議で採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

常任委員会報告

■総務企画委員会

●平成23年度武豊町一般会計補正予算について

問 災害復旧工事委託の内訳は。

答 委託料の内訳は、水道で職員と業者のセットで2回分、下水道で1回分、職員だけの派遣となる。水道業者への委託料は、予防接種代、車の借り上げ料、現地でのリース料などが含まれる。

派遣は、市と町がセットなので委託料は折半で、190万円弱、職員のみで約18万円。水道の本町の派遣グループは、職員1人と



業者3人で1グループとなる。

問 業者の選定方法は。

答 水道業者の選定方法は、支援要請の段階で、指定工事店の工事状況、要望の工事内容、その規模などを考慮し、派遣現場の状況に応じた業者を選定したい。

■文教厚生委員会

●平成23年度武豊町一般会計補正予算について

問 大腸がんの検診目標30%の数値がでた経緯は。

答 他のがん検診の実績にプラスアルファして30%とした。

問 30%は低いように思う。受診する人が多ければ補正しつめたい。

答 かなりの効果が期待されるため、予算に不足が生じた場合は、予算の補正をお願いする。

●武豊町立図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

問 この条例改正の施行日は平成24年4月1日となっているが、来年度の指定管理者制度導入を前提としているのか。

答 基本的には、4月1日から導入したいと考えている。

問 今の時期に提案した理由は。

答 集中改革プランで位置づけられ、行政評価においてもCランクとなっている。調査・研究など踏まえて、今回の提案に至った。

問 策定中の仕様書では、5年の契約期間後に見直すとおったが。

答 策定中の仕様書では、5年を想定している。まだ確定ではない。

問 受託業者の側からの撤退とか行政側からの契約破棄などがあるが、図書館の膨大な業務を遅滞なく継承できるのか。その点に

関する保証・担保は。

答 今現在、全国で200有余の図書館が指定管理者制度を導入しているが、途中で契約を取りやめた事例はない。

●工事請負契約の締結につ

いて「武豊町立図書館空調設備更新工事」

問 セパレート型に切り替えるという事は、天井取り付け工事となる訳だが、今回の東日本大震災で落下事例も聞いている。きちんとした施工を求めたいが、

どのようにやろうとするのか。

答 今回の工事では天井のコンクリートに機器を固定することになる。

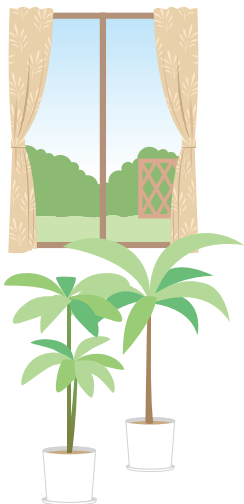
前年度に設計委託した業者に、引き続き管理委託をすることになったので安心して工事を。万全を期して工

事する。

●工事請負契約の締結について「子育て支援センター及び耐震性備蓄倉庫の整備事業に伴う不動産の買入れ」

問 子育て支援関係の建物と防災交通関係の建物について、引渡しされる時はどのような状態で引渡しされるのか。

答 現在の状況での価値で買取価格を決定しているの



11万円であるが、不動産鑑定はどのような方法でなされたのか。

答 取得する建物その他の工作物に関しては当該建物、その他の工作物の推定再建設費を、取得時までの経過年数及び維持保存の状況に応じた減価した額をもって補償する。この積算方法により取得金額を算定している。

●平成23年度武豊町一般会計補正予算について

■産業建設委員会

問 民間木造住宅耐震改修費補助金は、現在何件分残っているのか。また、追加分の周知方法は。

答 昨年度52件の応募があり、2件のキャンセルが出たので、現在50件の申し込みである。今回の補正が通れば、10件分の枠ができる。

町民への周知は、広報及びホームページなどで紹介する。

●工事請負契約の締結について「やすらぎの森墓園整備工事」

問 第3次実施プログラムで平成23年度に1億5千万円、24年度に2千7百万円と記載されているが、予定価格との差は。

答 実施プログラムに記載している価格は、基本設計の時点で積算した概算工事費の価格である。今回の請負金額は、実施設計を行い、詳細に積算した価格で入札を執行した。工事内容も一部増えており、実施プログラムとの差がでた。

問 最低制限価格に限りなく近い入札になっているが、業者は、この最低制限価格をどのように推測するのか。

答 ここ数年の入札結果を見ると、最低制限価格に近い価格で受注する傾向にある。最低制限価格算出の根拠については、武豊町最低制限価格実施要領に記載され公表している。